

第30回総会での意見・要望を受けて運営委員会で検討する事項

1. 会員からの主な意見

議案説明会および議決権行使に合わせて寄せられた主要な意見・要望は、つぎのように年会費の値下げおよび新入会員入会キャンペーンに集中している。

(年会費に関して)

- ・ 年会費が高い。勧誘時に会費が原因で後ずさりされている。地域への分配が2年連続となるが値下げの検討はしたのか。ひと世代前の会費を続けていいのか。
- ・ 各地域共に予算的には余裕がありそうなので、全員年会費を半額にしても良いのではないのか。
- ・ 年会費が入会の阻害要因であるということであれば、新規入会者の会費を0にするとか、紹介者の会費を割り引くなどという姑息なことせず、単純に会費を下げればいいのではないのでしょうか。
- ・ 近年はYouTubeなどで謝礼なしでも講師の話を聴ける環境にあると思うので、サロンの存在意義が薄れている。サロンは縮小して会費の値下げの検討をお願いしたい。
- ・ 予算書を見ると、本部の繰越金を食いつぶしている状況にあるが、地域じゃおを含めて見ると地域の繰越金が増加しており、お金が有効に使われていない。値下げすれば退会者も減少する、値下げの検討をお願いする。

(新入会員入会キャンペーンについて)

- ・ 第5号議案にて新規入会者の会費は半期単位にしては如何でしょうか？
- ・ 今回のキャンペーンを実施するとしても、入会希望者及び紹介人数にかかわらず現会員共に、年会費半額免除程度が妥当と考えます。
- ・ じゃおニュースなどにより、まずは現会員を軸に各地域で実施している取り組み、メディアの活用、自治体とのコラボなどの取り組みのアイデア募集などが先だと考えます。高いと言われる大切な会費を使う以前に、現会員の努力を促すよう努力して欲しい。
- ・ また、キャンペーン期間は、まずは今年度のみの試行事業として、本部会議などで効果を検証・分析した後の継続検討であるべきと考えます。
- ・ 既存会員との公平性の観点から会員の勧誘策をお金で対応するのはいかがなものか。紹介者が半額になるなら入会者も半額が妥当ではないか。本来、会員と一緒に活動する事が重要なのではないか。また、毎年更新として状況を見るべきではないか。
- ・ キャンペーンは単年度とすべきである。
- ・ 最近の新入会員は、高齢化や仕事との調整等により、入会後の活動への参加機会が必ずしも多くはないと思われるので、お試し期間（会費免除期間）を最大2年に延長してはどうか。
- ・ お試し期間（会費免除期間）の再考をお願いしたい。一律半年程度でよいのでは？
- ・ 募集会員の高齢化傾向は今後の趨勢。高齢者のニーズに狙いを合わせた活動方針を定めて層別した会員層に募集をかけるトライを地域ごとに探る努力などが必要かと思えます。

2. 今後の運営委員会での検討事項

今回の議案説明会から今後運営委員会で検討すべき事項は次の項目だと思います。

1) 会費の値下げの検討

会費の値下げについては、今までも検討はしてきたが現状の活動を継続することを前提とした

予測を行っていたため、「値下げしたとしても数年後は資金不足になる可能性があり、再値上げは行いたくないので据え置く」という回答でした。今回の意見を踏まえると、今までの回答では不十分だと思いますので、各経費項目の要否についてゼロベースで考えるタイミングを迎えているのではないかと思います。

ゼロベースで見直すということは、今までじゃおクラブが大事にしてきたと思われるいくつかの原則（下記①~④）を変えることを考える必要があると思いますので、運営委員会の中にプロジェクトを発足させて検討していくことを提案します。

- ① 非E会員へE会員と同様の情報提供を維持する。→ 非E会員のケアはしない
- ② Face to Face のコミュニケーション、飲みにケーション → オンライン会議が主流
- ③ 生活クラブ生協（オルタ館）との関係の維持 → オルタ館から脱却
- ④ デジタルもよいがアナログもできる限り残す → できる限りデジタルへ変換

2) 新入会員入会促進キャンペーン

この件については、お試し期間（会費免除期間）やキャンペーンの期間についての意見や各地域じゃおにおける勧誘活動の再考等の意見がありましたが、原案は一応承認されたので、まずは1年実施して、結果を確認し来年以降の対応を考えればよいのではないかと思います。

3. 今後のアクション

1) 会員への発表

まずは、会費の値下げと新入会員入会キャンペーンについて、今後の検討課題であることを伝える。（6月事務局だより）

2) 課題の検討

会費の値下げについては、運営委員会での検討は数名のプロジェクトで行い、上半期(9月末)までに方向性を決めて、運営委員会で協議しその結果を各地域じゃおに持ち帰り意見聴取。

1月末までは最終結論を出し、来年の予算案に反映。

4. 6月のじゃおニュース（事務局だより）での報告内容（案）

すでにご報告しておりますように、第30回通常総会において皆様から多くのご意見・要望を頂戴いたしました。その多くは、「会費の値下げ」と「新入会員入会キャンペーン」についてのご意見でした。これらのご意見・要望に関して、つぎのような対応を行うことを運営委員会において決定いたしました。

1) 会費の値下げの検討

会費の値下げを検討することは、じゃお全体の活動を見直すことが必要になります。従って、運営委員会の中に「じゃお活動改革プロジェクト(仮称)」を立ち上げ、各経費項目の要否についてゼロベースで検討します。地域じゃおの活動にも影響が出る可能性がありますので、地域じゃおの世話役の方々のご意見も伺いながらプロジェクトを進め、決定事項は来期の予算に反映します。

2) 新入会員入会促進キャンペーン

まずは原案通り1年間行って、実績を確認してから来年度以降の継続の可否や修正を考え、来期の総会に諮ります。